

学生の皆さんへ

本学における生成 AI の取り扱いについて

武庫川女子大学
武庫川女子大学短期大学部
学長 瀬口 和義

近年の AI 技術の発展により ChatGPT 等の生成 AI が急速に進化しており、皆さんの大学での学びに対しても大きな影響を及ぼすであろうと言われています。本学においてもネガティブな影響とポジティブな影響の両面から、速やかに分析と検討を進め、教職員、学生、父母等、社会に向けて本学の姿勢を明確に示していくべきだと考えています。

ネガティブな影響としては、対話型 AI の ChatGPT では人が書いたかのような自然な文章が自動的に生成されるため、その信憑性を吟味することなくレポート、論文、課題への解答などに利用した場合、皆さんが「自ら考え、動く」ことをしなくなるおそれがあります。一方、ポジティブな影響としては、ChatGPT を活用することで効率的に情報を収集することができ、課題にかかる時間や手間を省き、それによって生まれた時間をよりクリエイティブな思考や作業に充てることができます。

生成 AI に関しては、文部科学省も学校現場での取り扱いを示す資料を作成する方針となっています。この資料を確認後、本学における生成 AI の取り扱いについて学内で検討して詳細を決定した後、公表する予定としています。

当面は、以下のことに注意して、将来の自分の姿を思い描き、「自ら考え、動く」学びを目指してください。

- ①レポート、小論文、学位論文等については、学生本人が作成することを前提とし、生成 AI の出力をそのまま提出物として用いることはできません。
- ②授業などの担当教員の許可があれば、その指示の範囲内で使うことはできます。
- ③個人情報などの重要な情報を生成 AI へ入力すると、内容が意図せず漏えいする可能性がありますので、十分に注意してください。
- ④生成 AI によって作成された内容についてはその信憑性に十分に注意してください。
- ⑤生成 AI によって作成された内容を使用する際には、意図せず著作権侵害などの問題を引き起こすおそれがありますので、十分に注意してください。